



2学期がスタートしました



新型コロナウイルス感染症第7波による感染者が増え始めたのと同じに夏休みを迎えました。3年ぶりに行動制限のない夏休みでした。この間、第7波の勢いは止まらず、感染者数が爆発的に増え、7月末からは日本地図で過去最多を更新する赤色が塗られることが増え、医療現場は逼迫、発熱外来・PCR検査受検者で溢れました。8月を迎えて現在まで滋賀県内の新規感染者数が2,000人を超える日が続いています。

また、自然災害に目を転じれば、8月初旬に滋賀県北部に記録的短時間大雨情報や土砂災害警戒情報が発令されるなど大雨による甚大な被害が出ました。その後も北日本を中心に全国各地で大雨による被害が相次ぎました。

そんな中、真野小の子どもたちが、大きな事故もなく、夏休みを過ごすことができたのも、保護者の皆様、地域の皆様のおかげと感謝申し上げます。休業中の前後2回の電話でのお子様の様子の聞き取りにもご協力いただきありがとうございます。ありがとうございました。

42日間の長い夏休みが終わり、いよいよ今日から2学期が始まりました。第7波の終息の兆しがまったく見えないままの2学期のスタートとなりました。市教委の通知により、教職員の感染のみメール配信でお知らせしてきましたが、感染する児童が後を絶たないのが現実です(新たな通知により今後は教職員の感染についてもお知らせしないことになります)。2学期が開始する9月以降子どもの感染が増え、それにより大人が感染することによって感染者がさらに増加することが懸念されています。加えてまだまだ残暑が厳しく暑さ指数が嚴重警戒・危険レベルになる日が続くことが予想されます。1学期同様、熱中症対策を万全に、且つ、基本的な感染症対策を怠ることなく、健康で安全に過ごして欲しいと思います。マスクの着用については、1学期同様熱中症対策を優先したいと思います。

2学期は暑さが厳しい季節から、寒さが厳しくなる季節までを巡ります。1年で一番長い学期です。有意義な2学期になるよう努めて参ります。

平和記念式典(広島)、平和祈念式典(長崎)と77回目の終戦記念日



父は第2次世界大戦時、小学生でした。大阪市此花区で紡績業を営んでいた一家は空襲で焼け出されました。焼夷弾などの爆撃から逃れるため防空壕に逃げたことも一度や二度ではないこと、父が自宅に帰るのがもう少し遅れて声を掛けなければ兄弟姉妹が焼けた家に閉じ込められていたかも知れないこと等の経験を小さな頃から聞かされていた私は勿論戦争を知らない世代です。しかし、肉親が受けてきた様々な被害や戦争に

対する思いを身近に感じて来ました。直接自分が経験したことではないにしても、二度と戦争を起こしてはならないという強い思いをもっています。

ロシアのウクライナ侵攻が始まって半年が過ぎ、未だ事態の終息の兆しは見えません。8月6日の広島、8月9日の長崎への原爆投下、そして8月15日の終戦をコロナ禍で迎えるのも3度目になりました。今年もそれぞれに心静かに手を合わせ、お亡くなりになった方々の御霊に哀悼の誠を捧げると共に、戦争の平和的な解決と子どもたちが生きる未来が平和な世の中になるよう祈りました。



習慣が人をつくる ～7つの習慣～

「習慣が人をつくる」という言葉があります。幸せな人生を送るための第一歩は、こうなりたい、こうしたいという「思い」が出发点で、「思いの種を蒔き、行動を刈り取り、行動の種を蒔き、習慣を刈り取る。習慣の種を蒔き、人格を刈り取り、人格の種を蒔いて、人生を刈り取る」

親も子どもも本来は相互依存的なものです。金の卵を産むガチョウという話があります。1日に1個ずつ金の卵を産むガチョウを、欲張りな飼い主は待ちきれず、腹を開いて殺してしまう寓話です。これを人間（親子）関係に当てはめてみるとどうでしょう。

「子どもは幼いとき非常に依存した存在であり、傷つきやすい状態にいる。しかし親は往々にして、この時期、子どもに対する育成、コミュニケーション、感情移入といった活動を疎かにしがちである。なぜなら自分の欲しい結果を即座に手に入れるのに相手の弱さにつけ込み、相手を操ることがとても簡単だからである。親の方が大きいし、賢いし、正しいから、どうすべきかを指示するだけで済む。必要とあれば、叫び、脅し、強制すればいいと考えてしまう。しかし、『アイデンティティーの危機』ともいわれる10代にさしかかるとき、子どもはその時までの経験から、親のことを裁かずに話に耳を傾けてくれるだろうか。子どもである自分を一人前の人間として扱ってくれ、親は何があっても信頼できるという確信を持つようになっているだろうか。子どもと心を通わせ、真のコミュニケーションをとり、良い影響を及ぼすほどの強い関係を築いているだろうか。」（スティーブン・R・コヴィー「7つの習慣」より引用）

子どもには、部屋を片付け、勉強するという習慣（金の卵）を求め、ガチョウ（子）を大切に育てるためのコミュニケーションや安心信頼につながる思いやりがなかったら…。慈愛の心や自分の大人としての勉強など、人として身に付けなければならない大切な習慣づくりは、人に求めるものではなく、きっと自分に課しながら形成されるものだろうと思います。

ちなみにコヴィーの「7つの習慣」とは以下のようなことです。

第1の習慣：主体的である

第2の習慣：終わりを思い描くことから始める

第3の習慣：最優先事項を優先する

第4の習慣：Win-Winを考える

第5の習慣：まず理解に徹し、そして理解される

第6の習慣：シナジーを創り出す（シナジー：相乗作用、相乗効果）

1年で一番長い2学期。

自らのよりよい習慣づくりを意識して過ごしてくれればと思っています。

敬老の日のメッセージカード



9月19日(月)は敬老の日。今年度も真野学区内各自治会長様、地域学校協働活動推進員の杉本加津美様にご協力を賜り、敬老の日のメッセージをお届け致します。1年生から6年生まで分担してメッセージを作成しますので、受け取っていただければ幸いです。いつまでも健やかに過ごしてください。

コロナ対応日課について

コロナに対抗しながらも共に走り続けなければならない「ウィズコロナ」

新型コロナウイルス感染症第7波の動向を見極めつつ、2学期以降の日課を変更することについて、夏休み前の学校だよりでお伝えしました。コロナ第7波を取り巻く現状を鑑み、9月当初から元に戻すことはせず、戻すとすれば早くとも10月以降と考えています。その場合、9月中旬にはその旨お知らせしようと思います。